

○片平山配水池の利用地域
枕崎市街地全体、平田町、明和町、栄中町、栄本町、木原町、岩戸町、寿町、妙見町、桜山東町、桜山本町(宇都、桜馬場を除く)、清水町の一部、板敷西町の一部、板敷南町、美原町、別府系への送水

配水池の役割って何？
配水池は、浄水場や水源地から送られた水を貯め、需要に応じて配水する施設です。深夜に水を貯めて、朝や夕方の使用量が多くなる時間帯でも安定して供給する役割と地震や台風などの災害時に必要となる水を確保しておく役割があります。
市内には9カ所(上水道事業のみ)の配水池があり、合計すると8,518m³の水を貯えることができ、昨年度は1日当たり平均7,399m³の飲料水を供給しています。

新)片平山配水池から配水をはじめました。

- 仕様
構造＝ステンレス製円筒形型
形状＝円筒形
有効容量＝1,500m³×2池
有効水深＝9.1m
寸法＝D 14.5m×H 12.5m



▲ステンレス配水池の内部

水道事業



新しい片平山配水池の
本体工事が完成しました

令和2年度から更新工事を実施していた片平山配水池の本体工事が完成し、11月8日から配水を始めました。今回、配水池の有効高さを10倍高くし、利用されているご家庭や工場では水圧が約0.1MPa(メガパスカル)上がり、利便性が向上しています。この工事は、「枕崎市水道ビジョン」に基づき「強靱」施設更新対策として全面的な更新を行っているものです。全体工事は、令和4年度の外構工事と災害時の応急給水栓等を設置して完了する予定です。

創設から81年
本市水道の始まり

本市の市街地に上水道ができてから、今年で81年になります。本市の上水道はどのようなようになってきたのでしょうか。
昔の人は、飲料水をはじめ必要な水はすべて川や泉、井戸の

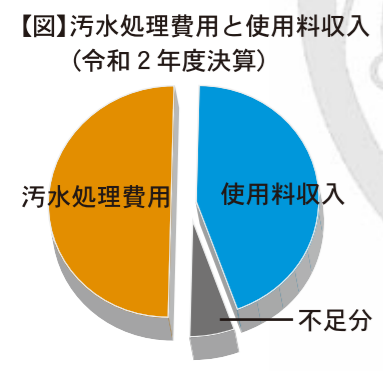
下水道事業

長く使い続けてもらいたい

下水道は汚水の処理を通じて衛生的なまちづくりや川や海の水質保全に貢献し、これからの縁の下から生活を支えるインフラとしてあり続けます。
そのための取り組みの一つとして、経営を長期的に見通すために下水道事業は令和2年度から会計方法を特別会計から公営企業会計へと移行しました。公営企業会計に移行したことにより、単年度に要する維持管理費などの費用とそれに対する収益、長期間効果を発揮する固定資産の取得・更新の費用や取得等にかかった借入金返済などの支出と財源が比較でき、経営状況が分かりやすくなりました。

収入(使用者負担)で賄うべき費用は約2億7800万円、不足額(差し引いた金額)は約3100万円でした(図参照)。その不足額は一般会計からの補助で賄いました。
下水道処理費用の主なものは、水をきれいにする処理にかかる費用として、終末処理場ほか施設の維持管理委託費用(約1億1829万円)、水をきれいにした後に残る汚泥の処分および運搬費等(約7032万円)、下水道管路の清掃費用、設備の修繕費用や事務的費用である使用料の徴収・検針費用や職員の人件費などとなっています。

令和2年度決算で汚水処理に係る収支(税抜)をみると、下水道使用料収入は約2億4700万円、汚水処理費用として料金



今後の下水道事業について

下水道施設は、下水道が使用できるようになった昭和59年から37年が経過しており、管きよや施設の老朽化が進んでおり、設備の更新を図っていく必要があります。このような状況も踏まえ、下水道事業では今年2月に「枕崎市下水道事業経営戦略」を策定しました。今後10年間の経営の基本方針として「施設の機能確保と効率的な施設管理」「費用の抑制」「収入の確保」を定め、長期的に安定した汚水処理

湧水を集水池に集めて片平山配水池へ送り、共同栓421戸へ給水を開始しました。その後、給水人口の増加や生活文化の向上に伴い、水の需要が年々著しい上昇をたどりました。そのため、給水区域を拡大して第一次から第三次の拡張事業を計画的に行い、現在に至っています。

「良質な水・安定供給いつまでも」
本市水道事業では、水道を次世代に引継ぎ、将来にわたって安全で良質な水の供給を維持し続けるために、平成29年度に「枕崎市水道ビジョン」を策定し「良質な水・安定供給いつまでも」を基本理念に事業を進めています。

片平山配水池の思い出



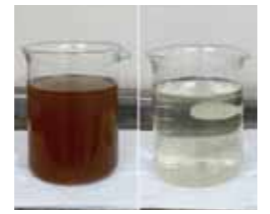
下木原有美さん(95歳)

昭和15年に創設した片平山配水池建設工事に従事した下木原さん。男性作業員の多い中で、同級生や近所のお姉さんと一緒に重い石やセメントを担いだことを今でもはっきりと覚えています。
「配水池が完成した時はみんなが喜んでくれた。今でも昔の配水池には思い出が詰まっている」と話します。

を行い、持続可能な経営を行うため、計画的な施設の改築・修繕の推進、業務内容や組織の見直しによる経費の縮減、汚泥処理施設の適正化による汚泥処理費用の縮減を行っていきます。その上で不足する費用については料金見直しを検討していきます。

市民の皆さんのご協力を

いにしていきます。しかし、汚れが酷すぎると施設・設備の故障や老朽化、水をきれいにするための時間・費用の増加、家庭の排水管が詰まるなどの原因になります。皆さんには、左の「下水道の使いかた」を参考にして、下水道の適切な利用をお願いします。



(左) 処理前の水 (右) 処理後の水
処理場では約1日半かけて水をきれいにします。

下水道の使いかた



熱湯を排水管に流すと排水管が変形する可能性があります。熱湯は冷ましてから流しましょう。

食器や鍋の油汚れは紙などでふき取ったり、天ぷら油は古布に吸わせたりして油類を流さないようにしましょう。

野菜くずや食べ残し、ビニール片や割りばしなどを流さないでください。野菜くずは三角コーナーなどで水気をよく切って燃えるごみへ。



薬品類や油脂類を下水道管に流してはいけません。廃棄方法を確認し、適切な方法で処分してください。

洗濯の洗剤・石けん、柔軟剤は適量を使いましょう(多く使っても洗浄力が高まるわけではありません)。

お風呂や洗面所では目皿を使い髪の毛などを流さないようにしましょう。目皿はこまめに掃除しましょう。